

国際社会青年育成事業

【経緯】 皇室に縁を持ち、約65年の長きにわたり繋ぎ、発展してきた歴史深い事業

- 1959年に上皇上皇后両陛下の御成婚記念事業として「青年海外派遣事業」開始。1962年に「外国青年招へい事業」開始。
- 1993年の天皇皇后両陛下の御成婚を記念し、1994年に上記2事業を「国際青年育成交流事業」として改組。
- 2019年のお代替わりを契機に「国際社会青年育成事業」として発展。

【概要】 様々な社会課題の解決に向けて国際的視野を持って貢献できる人材を育成する

- 世界各国が共通して抱える社会課題をテーマに設定し、テーマ別に2～3か国と相互に交流。
- 「日本プログラム」と「交流国プログラム」で構成。両国青年は共に両国でのプログラムに参加（令和8年度より）。

プログラムの流れ（イメージ）

- 参加青年：日本青年24名（18～30歳*）、交流国青年24名（18～30歳）、計48名
 - 交流国プログラム・日本プログラム滞在地域等：
- 交流国プログラムでは首都に滞在、日本プログラムでは首都及び地方1都市に滞在。プログラム期間中はホームステイも実施。

*各テーマ12名×2か国

*テーマに関する実務に従事している者は40歳まで

①

オンライン
プレセッション
※自己紹介、
ディスカッション
のキックオフ

②

日本
青年出国

③交流国プログラム
(首都7日間)

※後半4日間は日本青年のみ



④日本プログラム

(東京3日間、地方4日間)

※地方プログラムは交流国青年のみ



⑤

交流国
青年帰国

【令和7年度】

テーマ：①障害者、②高齢社会、③バリアフリー・ユニバーサルデザイン

交流国：①イタリア、②ドイツ、③フランス

日本青年外国派遣：9月14日～23日

外国青年地方プログラム：9月19日～23日

(①新潟県、②鳥取県、③大分県)

東京プログラム：9月24日～26日

【令和8年度】

総括テーマ：孤独・孤立対策

小テーマ・交流国：①地域におけるつながりづくり（ドイツ）

②若者や現役世代の孤独・孤立の予防（リトアニア）

交流国プログラム：10月12日～18日

・首都プログラム：10月12日～14日

・首都プログラム：10月15日～18日※日本青年等のみ

日本プログラム：10月16日～23日

・地方プログラム：10月16日～20日

(①高知県、②富山県)

・東京プログラム：10月21日～23日